



平成25年3月21日発行

相続税半世紀ぶりの課税強化！

先月号でもご報告しましたが、2015年1月より相続税の計算方法が変わります。この改正により課税される人が大幅に増える見込みです。相続税はかからないだろうと考えていた人達にも身近な問題として資産対策を検討する必要がでてきました。改正の一部は下記の通りです。

※改正法案が国会で成立するまで決定したものではありませんのでご了承ください。

①相続税の基礎控除額を4割引下げ（増税）

現行 5,000万円（定額） + 1,000万円 × 法定相続人
 改正後 3,000万円（定額） + 600万円 × 法定相続人

例えば正味遺産額が8,000万円で妻と子2人が法定相続人となる場合、現行では相続税はかかりませんが、改正後は相続税がかかることとなります。

②相続税の税率区分を見直し、最高税率を55%に（増税）

| 法定相続分での 各人の取得金額 | 税率 | |
|--------------------|-----|-----|
| | 現行 | 改正後 |
| 1,000万円以下 | 10% | 10% |
| 3,000万円以下 | 15% | 15% |
| 5,000万円以下 | 20% | 20% |
| 1億円以下 | 30% | 30% |
| 2億円以下 | 40% | 40% |
| 3億円以下 | | 45% |
| 6億円以下 | 50% | 50% |
| 6億円超 | | 55% |

③小規模宅地等の評価減の特例の拡充と要件緩和（減税）

小規模宅地の特例とは、今住んでいる自宅や事業を行っていた店舗などを相続する場合の敷地の評価を減額する特例です。地価の高い都市部における相続税の急激な負担増を緩和するために、居住用宅地に限り適用限度面積が拡大されました。

- ・特定居住用宅地等の適用対象面積の拡充

現行 上限 240㎡ ⇒ 改正後 上限 330㎡

- ・特定居住用宅地等と特定事業用等宅地等の併用限度面積の拡大

現行 最大 400㎡ ⇒ 改正後 最大 730㎡

※特定事業用宅地等には不動産貸付業は含まれません。

相続税の試算をご希望の方は担当者までご連絡下さい。

試算後、相続税対策についてもアドバイス致します。

ゴルフ会員権の譲渡所得に係る取得費の取扱いの変更について

国税庁は、東京高裁平成24年6月27日判決（確定）を受け、ゴルフ会員権の譲渡の際の税務の取扱いを変更しています。会社更生計画等により預託金債権が100%切り捨てられると、ゴルフ会員権はプレー権のみとなります。そのようなゴルフ会員権を譲渡した場合に切り捨てられた金額は、従来は収入金額から控除する取得費に含めることができませんでしたが、変更により、切り捨てられた金額も取得費とすることができるようになりました。つまり、譲渡損失を大きく計上できることとなります。

ゴルフ会員権を売ったときの所得は、総合課税の対象となり、ゴルフ会員権の譲渡により生じた損失は、事業所得や給与所得など総合課税対象の他の所得と損益通算することができます。

ゴルフ会員権の譲渡損失はその損失額が高額になるケースが多いので、損益通算すれば、大きな節税が可能となります。相殺しきれなかった損失の額は、白色申告している場合は繰り越せませんが、事業所得や不動産所得があり青色申告している場合は3年間損失を繰り越せます。

なお、税制の流れとしては、政府税制調査会が平成17年に公表した「個人所得課税に関する論点整理」にて、ゴルフ会員権の譲渡所得を従来の総合課税から他の所得との損益通算ができない分離課税に改める方向性が示されています。いずれ改正されれば損益通算ができなくなる可能性が高いので、あまり使っていない会員権をお持ちの方は一度売却を検討されてはいかがでしょうか。



アベノミクス

一部の企業ではボーナスが上がるといった景気のいいニュースが出はじめていますが、それよりも先に、4月以降私たちの生活に影響する生活必需品が値上がりし始めます。その原因は『円安』。

小麦やパン粉、豚肉、食用油、ポリエステル、ナイロン、紙製品、ガソリン、電気、ガスetc・・・あまり大げさに騒がれてはいませんがアベノミクスによる影響がじんわりと、生活に及んでいます。食用油の原料となる大豆や菜種はほとんどが輸入品のため影響は大きいのです。小麦などアメリカの不作による影響も大きいですが、円安による影響も否めないでしょう。

個人の生活においても大きな負担となりますが、経営者にとってはもっと深刻な問題です。「原材料が上がったから値上げ」という安易な考えでは顧客が離れてしまう可能性もあり、かといって値上げしなければ成り立たない現実も・・・とても難しい選択となりそうです。

アベノミクスで円安是正が進み、企業業績の改善もみられますが、その影響はいまのところ家計へのしわ寄せと背中合わせです。

ここでアベノミクスでネタを・・・

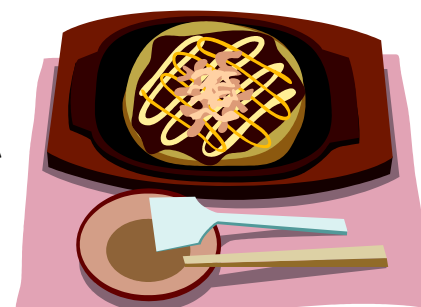
「景気ようするためにお好み焼き、ようけ食べてきたで」

「なんでお好み食うたら景気ようなんねん」

「ワシが行ったのは阿倍野の店やで！阿倍野でミックス焼き注文したからアベノミクスや」

「それでアベノミクスの効果はどないやねん」

「お好み焼きだけに、コテ先で終わってしもたわ」



世界的にもアベノミクスが注目されていますが、今後私たちも目を離せない重要な話題となりそうです。